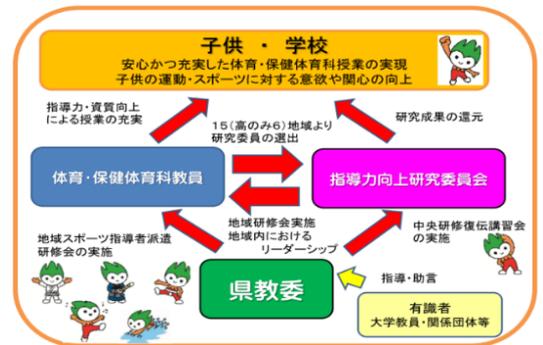
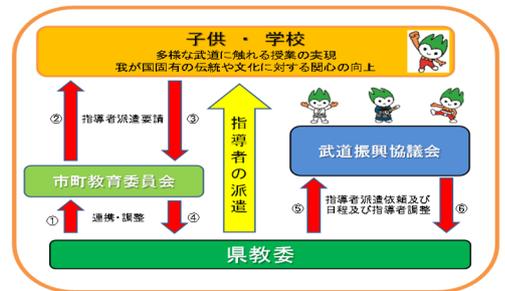


2023年度スポーツ庁委託事業 令和の日本型学校体育構築支援事業 多様な武道等指導の充実及び支援体制の強化 (山口県) 研究成果報告書

概要

- 1 武道推進モデル校での実践研究（複数武道種目の実施）**
 県内武道推進モデル校を5校指定し、武道領域の複数種目実施について、各武道団体と連携し、実践研究を行う。
 本事業の成果と課題を県内の中学校等に広く周知し、より一層、本県の武道授業の充実を図る。
- 2 教員の指導力及び資質向上をねらいとした研修会の実施及び充実**
 学習指導要領の趣旨を踏まえた指導力及び資質向上のための研修会を、年間を通して実施
- 3 教員の指導力向上に向けた研修体制づくり**
 （指導力向上研究委員会の設置及び取組の充実）
 県内各地域での小・中・高等学校における中核となる教員を研究委員として、県内における体育科・保健体育科授業の指導内容及び方法等の水準が維持・向上するよう指導の在り方を研究
 上記委員は、スポーツ庁が開催する2023年度体育・保健体育指導力向上研修（5月）〔以下中央研修という〕の県復伝実技講習会（6月）、山口県教育委員会主催の「山口県学校体育セミナー」に参加し、その内容と指導力向上研究委員会での研究成果を、各地域における既存の研修会等を活用し、指導者として周知・普及
- 4 地域スポーツ指導者及び優れた指導力を有する教員等の派遣（体育科・保健体育科授業等）**
 【武道領域】各武道団体が配置しているコーディネーター及び各地域の授業協力者等を活用するなど県内各武道団体と連携し、地域スポーツ指導者を派遣
 【水泳・ダンス等課題がみられる領域】外部指導者の人材発掘を行うとともにリスト化するなどして派遣
 【小学校】優れた指導力を有する教員を授業や校内研修会等に派遣し、指導技術等を中堅・若手教員へ引き継ぐなどの体制づくりの推進



今年度の取組

1 武道推進モデル校での実践研究

【武道推進モデル校の指定】

光市立大和中学校 【剣道 + 弓道】

光市立光井中学校【剣道 + 空手道】

周南市立岐陽中学校【剣道 + 空手道、柔道 + 少林寺拳法】

周南市住吉中学校【柔道 + 少林寺拳法】

下関市立豊洋中学校【剣道 + なぎなた】

各武道団体から学校体育における武道指導者を推薦。推薦者を派遣指導者として委嘱し、武道推進モデル校に派遣

武道推進モデル校及び各武道団体（派遣指導者含む）等と綿密な打ち合わせを実施し、授業内容及び役割分担、日程等の詳細について確認

武道推進モデル校の生徒及び担当教員に対し、事前・事後アンケートを実施し、その変容について分析

来年度以降の取組の充実と発展を目的に、武道推進モデル校による実践研究終了後、今年度の研究成果と課題について事業報告書（リーフレット）を作成し、県内全ての公立中学校、武道団体及び各市町教育委員会等へ配付

2 教員の指導力向上に向けた研修体制づくり（指導力向上研究委員会の設置及び取組の充実）

指導力向上研究委員会の委員（38名）は、小・中・高等学校体育実技講習会（6月）、山口県学校体育セミナー（10月）に参加し、学習指導要領の趣旨を踏まえた効果的な指導方法を習得するとともに、各地域のリーダーとして、指導の在り方について共通理解・共通実践を推進

小・中学校は県内15地域において、高等学校は県内6地域において、小学校教員及び中学校・高等学校保健体育科教員を対象に、各地域から選出された上記委員を指導者とした復伝研修会を実施
各地域の研修会の実施体制や内容についての調査結果をまとめ、課題を明確化

3 地域スポーツ指導者等及び優れた指導力を有する教員（体育授業マイスター）の派遣

地域スポーツ指導者の体育科・保健体育科授業への派遣【実績：のべ53校へ50名派遣】

小学校への優れた専門的な技能の指導力を有する教員（体育授業マイスター）の派遣【実績：のべ17校へ11名派遣】

派遣に際して、事前に、県内の中学校武道授業の実施状況及び中学校保健体育科教員の武道授業における指導力（指導経験、段位の取得状況、自己評価等）確認調査を行い、県内教員の武道指導の実態を把握

調査結果をもとに、研修会への参加や地域スポーツ指導者の活用、複数体制による指導等の実施を促すなどの安全対策の徹底

派遣校の生徒及び担当教員に対し、事前・事後アンケートを実施し、その変容について分析

4 教員の指導力及び資質向上をねらいとした研修会の実施及び充実

小学校体育実技講習会（器械運動）

中学校・高等学校体育実技講習会（陸上競技・保健領域）

学校体育・地域社会武道（柔道・剣道）指導者研修会

小・中体育主任研修会（体力向上等に係る取組充実に向けたグループ協議等）【オンラインによる開催】

小学校体育実技研修会

山口県学校体育セミナー

講師：桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部 佐藤 豊 教授）

「学習指導要領の趣旨を踏まえた指導と評価の一体化に向けた授業改善について」

中学校・高等学校体育実技講習会の様子



山口県学校体育セミナーの様子



実践事例

実践研究事例 1 剣道・弓道

学校名 光市立大和中学校
実施学年 3学年2学級 46名

1. 実践研究のねらい

- (1) 武道の特性に、より一層触れることができるような体制を整え、礼法及び伝統的な行動の大切さを味わうことで、武道の楽しさを味わい、伝統的な考え方を理解する。
- (2) 専門性の高い外部指導者の指導に実際に触れることで、教員の指導力の向上を図る。

2. 実践研究における工夫

(1) 指導内容の工夫

1時間目の授業において、地域スポーツ指導者の方々から空手道の形、剣道の打ち込み稽古を実演していただいた。本物に触れることで、生徒の興味・関心が高まる様子を感じられた。

(2) 指導内容の精選

剣道では、3年間を見通して、各学年で指導内容を精選し、スモールステップでより武道の特性や実技での達成感を味わうようにした。

(3) 生徒の視覚的な理解を促す資料の活用

今年度も掲示資料を活用。また、上記でも述べたように、地域スポーツ指導者が実際に手本を示す機会を増やし、生徒がより理解しやすい状況をつくり出すようにした。

3. 授業の様子



【剣道：判定試合】
学習のまとめとして、生徒相互の判定試合を行い、お互いの技能習得を称え合った。



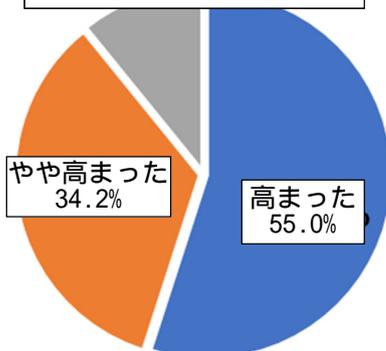
【弓道：行射体験】
指導者10名による安全かつ丁寧な指導で、全校生徒124名が行射を体験することができた。

4. 成果

- (1) 武道の授業が「楽しい」と答えた生徒が、約16%も増えていることから、今年度も本事業の手応えを感じている。(本事業が、今年で3年目となる3年生においても、「楽しい」と答える割合が増えた。)
- (2) 空手道において、今年度も全学年での取組だったが、基本的な「構え・突き・蹴り」の技能に加えて、基本形にも取り組むことができたことが、生徒にとって充実感を得られているように感じた。
- (3) 剣道では、授業を重ねるにつれて、竹刀の振り方、打ち方、など技能の向上が顕著に見られた。また、今年度は、地域スポーツ指導者の方々の実演も披露していただく場面も多く設定し、大変充実した内容となった。
- (4) 授業が「楽しい・やや楽しい」と答えた生徒が約7割。剣道では、竹刀を握って面・小手・胴を打つこと(リズム剣道)や胴・垂れの着装、空手道では、基本型にチャレンジしたりするなど、より実践に近い状況を体験できたことに、「楽しさ(ワクワク感)」を感じている様子が見られた。

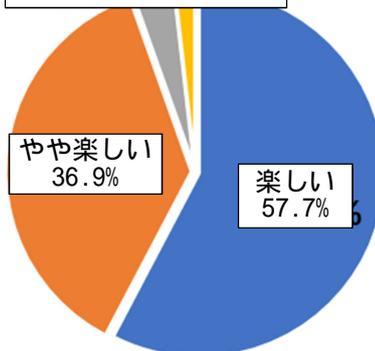
○ 多様な武道を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。

あまり高まらなかった 10.8%
高まらなかった 0.0%



○ 多様な武道を学習する授業は楽しいですか。

あまり楽しくない 3.6%
楽しくない 1.8%



実践研究事例2 剣道・空手道

学校名 光市立光井中学校
実施学年 全学年6学級 147名

1. 実践研究のねらい

- (1) 剣道・空手道という2種類の武道を体験することを通して、武道の特性や成り立ちや基本動作など、それぞれの種目への知識・理解を深めるとともに、種目特有の高められる体力の向上を目指す。
- (2) 長年、それぞれの武道で修練を重ねてこられた地域スポーツ指導者の方から専門的な指導（実演披露、経験談等も含めて）を受けることで、技能の向上だけでなく、礼法及び伝統的な行動の大切さを感じることができるようになる。
- (3) 「相手を尊重する」「自己を律する」など武道で重んじられる精神を学び、今後の生活に役立てていこうとする意識と実践力を高める。
- (4) 専門性の高い指導者（講師）の指導に実際に触れることで、教員の知識・技能の向上につなげる。

2. 効果的に指導するための工夫

- (1) 毎回の授業の中で、地域スポーツ指導者の実演を見せていただくことを通して、生徒の興味関心を高めたり、技能の細部への気付きや実際の迫力などを感じたりできるようにした。
- (2) 3年間を通して地域スポーツ指導者の方に教えていただくことで、各学年での指導内容を精選し、スモールステップで「わかる・できる」を経験しながら武道の特性や達成感を味わうことができるよう工夫した。
- (3) グループでの教え合い活動やグループでの練習、グループでの発表などグループ単位で授業を行うことで生徒同士が高め合えるように工夫した。
- (4) 授業毎に、振り返りを行うことで自分自身の武道への取り組みを振り返り、次の授業へ生かすことができるよう工夫した。

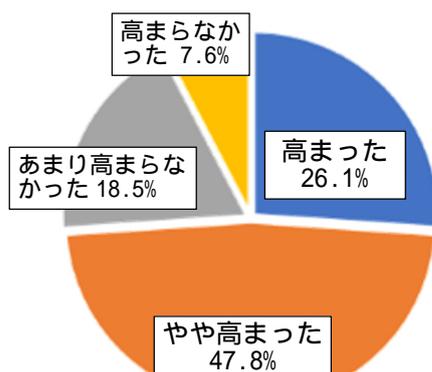
3. 授業の様子

	【空手道：集団演舞の発表】 基本的な突きや蹴り、構え等を学習した後、グループに分かれて形の練習を行い、グループごとに集団演舞として発表を行い、空手道の技の特性を味わえるようにした。		【剣道：判定試合】 剣道の歴史や特性、基本となる技の習得など、グループごとに胴・垂れを付け判定試合を行い、剣道の技の特性を味わえるようにした。
---	--	--	---

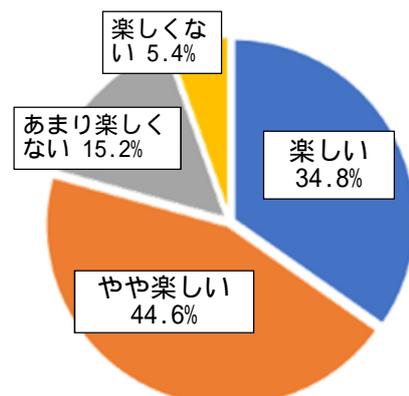
4. 成果と課題

- (1) 空手道・剣道ともにグループ学習を行ったことによって、グループ内での教え合いや話し合い活動などを充実させることができた。
- (2) 空手道の演武、剣道の判定試合を授業の目標とすることで、生徒達がそれぞれの授業のめあてを理解し意欲的に取り組む姿が見られた。
- (3) 振り返り活動を行ったことで、生徒が自分自身の活動を振り返り、次時の取り組みに生かすことができた。
- (4) 3年間を通じて、各学年の目標をどのように定め、授業毎に段階を上げていくのかを生徒の実態などを考慮し考えていく必要があると感じた。

○ 多様な武道を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。



○ 多様な武道を学習する授業は楽しいですか。



1. 実践研究のねらい

- (1) 剣道・空手道の2種目を実践することで、日本固有の伝統と文化により一層触れるとともに、武道の特性や成り立ち、基本動作などの武道特有の知識・理解を深める。
- (2) 地域スポーツ指導者の専門的な指導により、安全で充実した授業の展開と教員の指導力の向上に資する。また、武道特有の技能の習得や、礼法及び伝統的な行動の仕方を守ろうとする態度を養う。
- (3) 武道が重んじる「相手を尊重する」「自己を律する」という精神を学び、今後の生活に役立てていこうとする意識と実践力を高める。

2. 実践研究における工夫

(1) 効果的に指導するための工夫

大規模校での実践ということで、日課編成上、複数クラス同時の授業展開となった。生徒に限られた時間内で、武道に対する興味・関心を高められるように、地域スポーツ指導者には実演を中心に協力いただくことで、生徒の技能習得に向けた意識付けを図ることができた。

事前学習では、武道の歴史や特性等が丁寧にまとめられているDVDを視聴したことで、武道学習へ積極的に取り組むきっかけとすることができた。今回は掲示用資料を使用していないが、地域スポーツ指導者の実演により、生徒がより習得しやすい状況をつくりだすことができた。

(2) 生徒の安全を確保するための工夫

剣道、空手道ともに裸足での実践となることから、事前に体育館フロアの安全確認を行った。また、武道を初めて実践する生徒が多数のため、準備運動を日頃より入念に行うなど、ケガの防止に努めた。併せて、感染症対策として事前事後の手洗い、手指消毒等を徹底した。

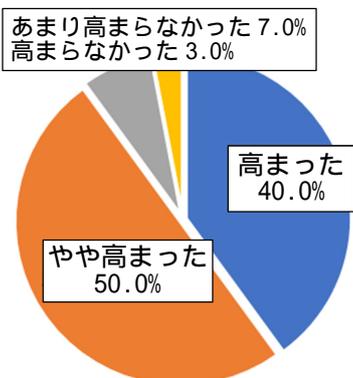
3. 授業の様子

	<p>【剣道：中段の構え】 基本的な竹刀の持ち方・振り方（面・小手・胴）に時間をかけて練習した。授業のまとめとして判定試合を行い、剣道の技の特性を味わえるようにした。</p>		<p>【空手道：指導者による実演】 立ち方・拳の握り方・蹴り方を練習した。短い時間ではあったが、基本形にチャレンジし、空手道の技の特性を味わえるようにした。</p>
--	---	---	--

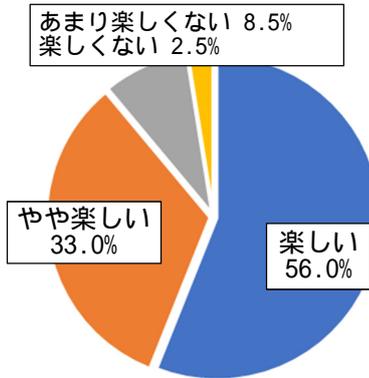
4. 成果と課題

- (1) 下のグラフからも分かるように、授業後のアンケートでは、どの項目においても肯定的に捉えている生徒が9割近くに達していることから、本事業の成果を感じている。
- (2) 空手道は初めての取組であったが、生徒は、構え・突き・蹴りといった基本的な技能だけでなく、基本の「形」にも意欲的に取り組むことができた。
- (3) 剣道では、竹刀の振り方、打ち方など基本的な技能の習得を図った。また、リズム剣道や判定試合にも挑戦し、より実践に近い活動を行うことができた。
- (4) 日本固有の伝統と文化に、より一層親しむことは、生徒の生涯にわたる健康の保持増進に直接的につながることを踏まえれば、今年度の素晴らしい成果を、来年度に引き継いでいきたい。その際、生徒数が多いため、指導時間、指導者数等について十分に検討する必要があると感じている。

○ 多様な武道を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。



○ 多様な武道を学習する授業は楽しいですか。



実践研究事例 3 - 柔道・少林寺拳法

学校名 周南市立岐陽中学校
 実施学年 第2学年6学級 220名

1. 実践研究のねらい

- (1) 柔道・少林寺拳法の2種目を実践することで、日本固有の伝統と文化により一層触れるとともに、武道の特性や成り立ち、基本動作などの武道特有の知識・理解を深める。
- (2) 地域スポーツ指導者の専門的な指導により、安全で充実した授業の展開と教員の指導力の向上に資する。また、武道特有の技能の習得や、礼法及び伝統的な行動の仕方を守ろうとする態度を養う。
- (3) 武道が重んじる「相手を尊重する」「自己を律する」という精神を学び、今後の生活に役立てていこうとする意識と実践力を高める。

2. 実践研究における工夫

(1) 効果的に指導するための工夫

大規模校での実践ということで、日課編成上、複数クラス同時の授業展開となった。生徒に限られた時間内で、武道に対する興味・関心を高められるように、地域スポーツ指導者には実演を中心に協力いただくことで、生徒の技能習得に向けた意識付けを図ることができた。

事前学習では、武道の歴史や特性等が丁寧にまとめられているDVDを視聴したことで、武道学習へ積極的に取り組むきっかけとすることができた。今回は掲示用資料を使用していないが、地域スポーツ指導者の実演により、生徒がより習得しやすい状況をつくりだすことができた。

(2) 生徒の安全を確保するための工夫

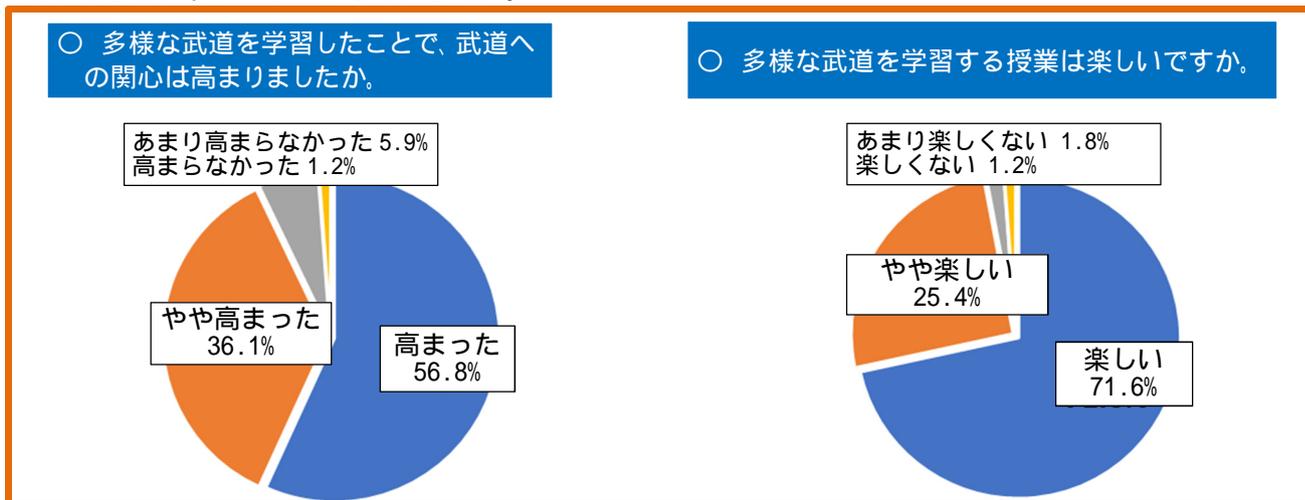
柔道は裸足での実践となることから、事前に体育館フロア及び畳の安全確認を行った。また、武道を初めて実践する生徒が多数のため、準備運動を日頃より入念に行うなど、ケガの防止に努めた。併せて、感染症対策として事前事後の手洗い、手指消毒等を徹底した。

3. 授業の様子

	<p>【柔道：指導者による実演】 地域スポーツ指導者には、礼法、受け身、固め技について、実演を交えながら丁寧に指導いただいた。指導者が複数いることで、安全管理のみならず、個別の支援も充実させることができた。</p>		<p>【少林寺拳法：上受の練習】 基本的な構え、蹴りなどの習得に時間をかけて練習した。自分の身を守る術について、地域スポーツ指導者の実演を見本にしながら、取り組むことができた。</p>
--	--	---	---

4. 成果と課題

- (1) 下のグラフからも分かるように、授業後のアンケートでは、どの項目においても肯定的に捉えている生徒が9割強に達していることから、本事業の成果を感じている。
- (2) 少林寺拳法は初めての取組であったが、生徒は、構え・突き・蹴りといった基本的な技能だけでなく、基本の「形」にも意欲的に取り組むことができた。
- (3) 柔道では、受け身や固め技などの技能の向上が顕著に見られた。また、地域スポーツ指導者による実演があったため、よりスムーズな技能の習得につながった。
- (4) 武道が重んじる「礼節（礼儀）」の指導では、地域スポーツ指導者自らの実体験や思いも加えた説明により、改めて日常のあいさつや礼法に対する意識（価値観）の高まりを感じた。生徒たちが感じた思いを学校生活の中で表現できるようにサポートしていきたい。



実践研究事例 4 柔道・少林寺拳法

学校名 周南市立住吉中学校
実施学年 第2学年2学級 57名

1. 実践研究のねらい

- (1) 柔道・少林寺拳法の2種目を実践することで、武道に対する意欲や関心を高めるとともに、武道における基本動作などの理解を深める。
- (2) 専門の技能を有する地域スポーツ指導者から学ぶことで、生徒の技能習得とともに、教員の指導力向上を図る。
- (3) 日本が大切にしてきた伝統や文化を重んじ、日常生活にも生かしていこうとする心を育てる。

2. 実践研究における工夫

(1) 効果的に指導するための工夫

学習プリントの活用や武道に関する内容を映像で確認するなどの事前学習により、武道への興味・関心を高めた。

少林寺拳法では、複数指導者の授業実施により、効果的で、きめ細かな指導ができるよう場面設定を行った。

柔道については、指導者の方の実演を効果的に活用し、礼儀作法や基本動作など、視覚的・体験的な学習活動の工夫を行った。

(2) 生徒の安全を確保するための工夫

事前に授業の流れを地域指導者の方と行うことで、地域指導者と教師が連携し、生徒の活動場面では常にきめ細かな安全確認を行うことができた。

3. 授業の様子



【少林寺拳法：基本動作】
指導者から丁寧に教わりながら基本の動作を行った。声を出すことで、思い切りのよい動きに変化していった。

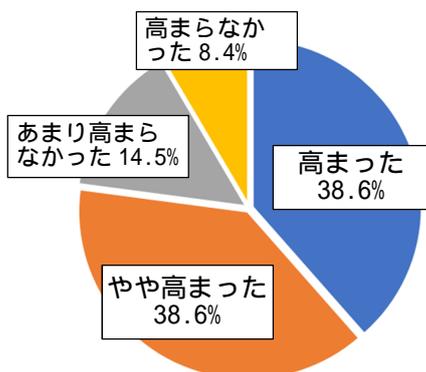


【柔道：礼儀作法】
武道の基本となる礼儀作法について、意味や動きを一つひとつ確認しながら実際に行った。

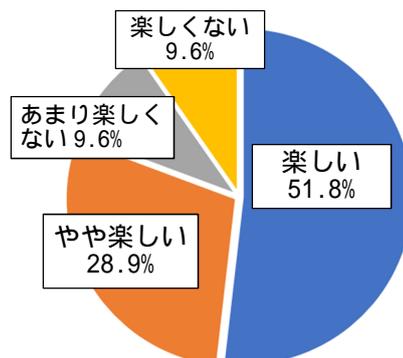
4. 成果と課題

- (1) 武道に対して恐怖を感じている生徒もいたが、授業後は武道に対する関心が高まった様子であった。
- (2) 少林寺拳法は、全員が初めて取り組んだ。礼に始まり、相手を意識した取組の中で、楽しさを実感しながら活動していた。
- (3) これまでに取り組んだことのなかった活動を行うことで、関心の幅が広がった。多くの武道に触れることは、生涯スポーツの実践にもつながると思われる。(3) 伝統文化の理解や、礼儀作法の習得を実感した生徒が多く見られた。
- (4) 武道の良さや、伝統的な作法まで学ぶことができたので、今後の学習指導においても生かしていきたい。
- (5) 柔道の受け身については、器械運動(マット運動)と関連づけることで、武道の学習指導にも効果的であることから、今後の単元計画の作成する際も工夫していきたい。

○ 多様な武道を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。



○ 多様な武道を学習する授業は楽しいですか。



実践研究事例5 剣道・なぎなた

学校名 下関市立豊洋中学校
実施学年 第1学年1学級 27名

1. 実践研究のねらい

- (1) 地域スポーツ指導者との連携により、武道(剣道・なぎなた)の特性、礼法や伝統的な行動の仕方について、より専門的に学ぶことを通して、相手を尊重し、今後の生活に役立てようとする意識を高める。
- (2) 剣道からなぎなたへとつながる複数種目の武道を計画し、体さばき(足さばき)などの基本動作は共通することに気づかせる。技の指導では、剣道の有効打突(面・小手・胴)となぎなたの有効打突(面・すね)の違いの指導を図る。
- (3) 取り・受けの約束で行う武道の攻防について段階的に学ぶ授業を展開する。

2. 実践研究における工夫

- (1) 複数武道を効果的に指導するための工夫

剣道

- ・曲を流して素振りや打ち込みを行うリズム剣道を実施した。
- ・竹刀で新聞を切り、興味関心を高めた。
- ・複数の指導により、きめ細かい指導ができ、苦手な生徒にとっては、できる喜びや達成感を味わうことができた。
- ・防具着用の指導者に面・小手・胴を実際に打ち込ませる体験を実施した。

なぎなた

- ・円陣を組み、指導者が指導しやすいように体さばき(足さばき)や有効打突の仕方が同じ方向に動けるように配慮工夫をした。

- (2) 生徒の安全を確保するための工夫

- 剣道では、毎時間、竹刀の点検を指導者と行った。なぎなたの長さを配慮して、前後左右の間隔を保ちながら授業を展開した。

3. 授業の様子



4. 成果と課題

- (1) 複数武道の授業実践を通して、すべての生徒が、武道への関心が向上した。これは、外部指導者の専門的な指導を通して、剣道やなぎなたの特性を知るとともに、基本的な技能を身につけることができたことに楽しさや達成感を感じられた成果であると考える。
- (2) 始めと終わりの「着座での礼」、相手と対戦するときの「立礼」を体験することで、武道ならではの「礼節」の大切さや相手を尊重する態度を身につけることができた。
- (3) 外部指導者を活用した武道の複数種目の授業実践を生かし、教師の指導力の向上を図る必要がある。

○ 多様な武道を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。

あまり高まらなかった 0.0%
高まらなかった 0.0%

やや高まった
48.1%

高まった
51.9%

○ 多様な武道を学習する授業は楽しいですか。

あまり楽しくない 0.0%
楽しくない 0.0%

やや楽しい
22.2%

楽しい
77.8%

事業の成果

1 武道推進モデル校での実践研究（複数武道種目の実施）

実践研究を通して、複数種目の武道実践により、日本固有の伝統と文化に、より一層触れることで一定の成果が得られたものと捉えている。授業後の生徒アンケートでは、武道への「関心の高まり」や「理解の深まり」について多くの生徒が肯定的な回答を選択した。今年度の成果等について、事業報告書を作成し、県内全ての中学校等へ配付するとともに、その内容を復伝することで、来年度以降の本事業の積極的な活用と取組の充実に大きな期待がもてる。これまで経験したことのない武道種目に取り組むことで、日本固有の伝統と文化に、より一層触れる機会が増えることは、生徒の生涯スポーツの観点からも非常に有効であると捉えている。

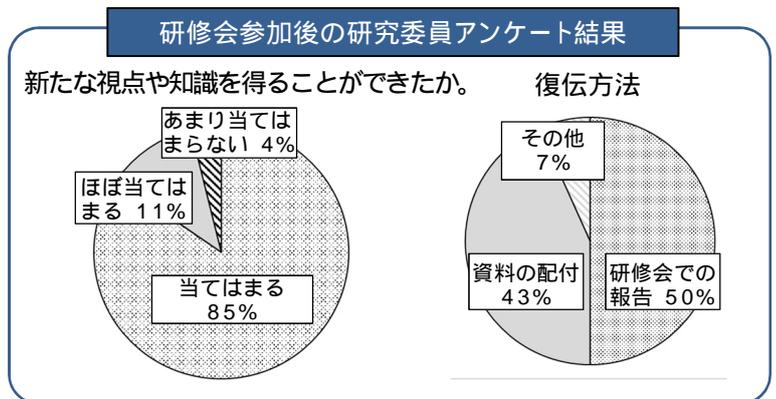
多様な武道授業後のアンケートにおいて肯定的な回答を選択した生徒の割合	
質問項目	割合
武道への関心は高まりましたか。	88.6%
伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	90.3%

2 教員の指導力及び資質向上をねらいとした研修会の実施及び充実

体育実技研修会では、中央研修を受講した中核教員の復伝講習会として参集型で実施することができた。学校体育セミナーでは、昨年度を受講者のニーズを踏まえた内容を精査し、実施方法についてもオンライン及び参集を効果的・効率的な研修会にすることで、授業づくりや指導力向上を図ることができた。

3 教員の指導力向上に向けた研修体制づくり

県内15地域(高等学校6地域)の各校種の研究委員が、6月に開催された体育実技講習会(中央研修の復伝)及び10月に開催された学校体育セミナーに参加し、領域の指導内容及び効果的な指導法について、実技や講義を通して指導力の向上を図った。研究委員は、各地域の研修会等により、研修内容を教員へ周知・普及した。来年度は、本県の課題の一つである体力向上に向けた研修に重点を置き、取り組みたいと考えている。



4 地域スポーツ指導者等及び優れた指導力を有する教員（体育授業マイスター）の派遣

地域スポーツ指導者(水泳・ダンス領域)の派遣により、各学校において、より安全かつ充実した授業が実施された。2種目の多様な武道授業の指導者を派遣し、生徒が、様々な武道の特性を味わうことができたとともに、地域指導者のサポートにより、安全な武道授業が実施された。小学校への優れた指導力を有する教員(体育授業マイスター)の派遣により、地域におけるOJTの活性化につながった。

地域スポーツ指導者及び優れた指導力を有する教員等派遣校一覧

[地域スポーツ指導者等](のべ69校に派遣)

武道派遣10校 武道推進モデル校含む

【柳井市1校】柳井西中(剣道、空手道) 【光市2校】光井中(剣道・空手道) 大和中(剣道、弓道)
 【周南市2校】岐陽中(柔道・剣道、少林寺拳法・空手道)、住吉中(柔道・少林寺拳法)
 【山口市2校】阿東中(剣道・弓道)、徳地中(剣道・空手道) 【萩市1校】田万川中(相撲・なぎなた)
 【下関市2校】内日中(剣道・空手道)、豊洋中(剣道・なぎなた)

ダンス派遣3校(現代的なリズムのダンス3校)

【田布施町1校】田布施中 【柳井市1校】柳井中 【山口市】阿東東中

水泳派遣40校

【岩国市1校】美和東小 【上関町1校】上関小 【周南市3校】夜市小、大河内小、和田小
 【下松市1校】下松小 【山口市6校】二島小、小郡小、鑄銭司小、湯田小、八坂小、陶小
 【防府市2校】華浦小、右田小 【宇部市3校】見初小、西宇部小、吉部小
 【山陽小野田市3校】赤崎小・竜王中松原分校、高泊小、有帆小 【美祢市2校】厚保小、大嶺小
 【下関市6校】養治小、江浦小、川中西小、小串小、宇賀小、豊北中
 【萩市6校】育英小、三見小中、福栄小、明木小、白水小、多摩小(田万川中)
 【長門市5校】仙崎小、俵山小、浅田小、日置小中、神田小 【阿武町1校】福賀小

優れた指導力を有する教員(体育授業マイスター)派遣17校

【岩国市3校】杭名小、そお小、装港小 【防府市2校】勝間小、西浦小 【山口市1校】小郡小
 【宇部市5校】厚南小、黒石小、西岐波小、常盤小、西宇部小
 【下関市3校】向井小、長府小、名陵小 【長門市3校】浅田小、日置小、俵山小